corega FEther PCI-TXC 取扱説明書
（Windows 95 編）

はじめに

本製品のドライバーを Windows 95 にインストールする手順を説明します（ここでは、ネットワークアダプタ用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない状態でのインストール手順を説明します）。なお、Windows 95 には、Version A、Version B、Version C のバージョンがあります。本製品は Version B（OSR2）以降で動作しますのでご注意ください。また、バージョンによってドライバーのインストール時に表示されるメッセージが若干異なります。本書では、Version B を使用し、手順を説明します。

本書に記載されている内容は以下の通りです。

■ 各部の名称と働き 2

■ 用意するもの 2

■ ハードウェアの設定 3

■ UTP ケーブルの接続 5

■ ドライバーの新規インストール 6

■ インストールの確認 7

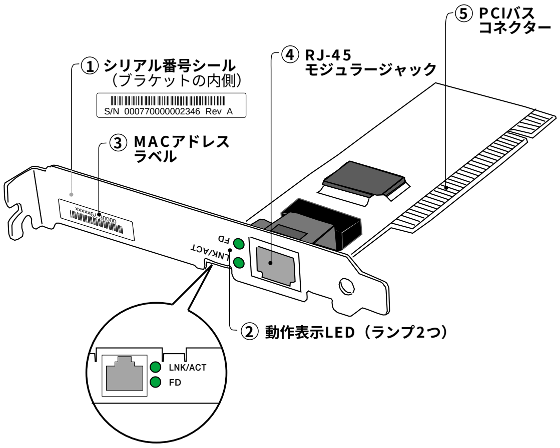
■ ドライバーの削除 9

■ ドライバーの再インストール 10

P/N J613-M3545-03 Rev.A 020610

各部の名称と働き

本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。



外観図

① シリアル番号シール

本製品のシリアル番号（製造番号）とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚同梱されており、パッケージ (外箱) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号シールは、「製品保証書」に貼付してください（残る 2 枚は予備です）。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

② 動作表示 LED（ランプ）

次の 2 つの LED があります。

LNK/ACT （緑）: 本製品とハブ（またはスイッチ）の間でリンクが成立すると点灯し、パケットを送受信すると点滅します。

FD （緑）: Full duplex モード（全二重通信）のときに点灯します。

③ MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。

④ RJ-45 モジュラージャック

UTP ケーブル（シールドなしツイストペアケーブル）を接続するコネクターです。

⑤ PCI バスコネクター

本製品とパソコンのインターフェースとなるコネクターです。この部分は素手で触らないようにしてください。

用意するもの

- 本製品本体・UTP ケーブルなど
- 本製品のドライバーディスク (CD-ROM)
- パソコン（Windows 95 インストール済み）
- Windows 95 の供給メディア（CD-ROM またはフロッピーディスク）

注意 **Windows 95 がパソコン購入時にあらかじめインストールされた形態で提供さているときは（プリインストール版）、Windows 95 のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していないときは、安全のため、必ずフロッピーディスクに Windows 95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを始めてください。バックアップ手順は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

注意 **以下の手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書では AT 互換機 /PC98-NX へのインストールを例にして説明してあります。**

ハードウェアの設定

本製品をパソコンに取り付け / 取り外す手順を説明します。この手順を実行することにより、ネットワーク環境を提供する本製品のドライバーソフトウェアをインストールする準備が整います。

パソコンへの取り付け

以下に示す手順に従い、本製品をパソコンの拡張スロットに取り付けます。

パソコン本体のカバーの取り付け / 取り外し・アダプターの取り付けの詳細は、ご使用のパソコンのマニュアルをご覧ください。

1 . パソコン上で動作しているソフトウェアをすべて終了し、本体の電源をオフにします。

2 . 必ずパソコンの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

警告 **パソコンの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずパソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。電源をオンにしたままこの作業を行うとパソコンや本製品の故障の原因となることがあります。**

3 . パソコンの本体カバーを外します。

4 . スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外します。

5 .PCI バス用の空きスロットを確認します。PCI バススロットの位置は、ご使用のパソコンのマニュアルを参照してください。

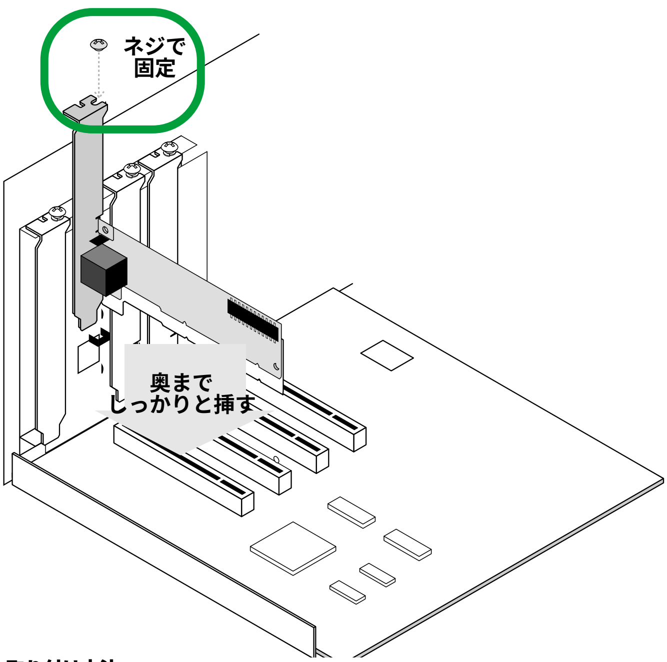
6 . 本製品を拡張スロット（PCI バス用）にしっかり奥まで挿し込みます。

警告 **本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCI バスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。**

7 . 手順 4 で外したねじを使用して、本製品を固定します。<u>このねじは必ず取り付けてください。</u>

8 . パソコンの本体カバーを取り付けます。

ネットワーク接続に必要なハードウェア設定（DMA、IRQ、I/O アドレスなど）は、本製品をパソコンの拡張スロットに取り付けただけで自動的に行われます。



取り付け方法

パソコンからの取り外し

以下の手順に従い、本製品をパソコンの拡張スロットから取り外します。

1.「 パソコンへの取り付け」の手順（1）〜（3）と同様に、パソコンの本体カバーを外します。

2.本製品を固定しているねじを外します。

3.本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜く時は左右に振らずに真っすぐ引き抜いてください。

注意 **本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCI バスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。**

4.スロットカバーを元どおりに取り付けます。

5.パソコンの本体カバーを取り付けます。

UTP ケーブルの接続

次に、本製品を UTP ケーブルと接続します。

本製品と UTP ケーブルとの接続

警告

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

1. ご使用の環境に合った UTP ケーブル（ツイストペアケーブル）を用意します。詳細は以下をご覧ください。

100BASE-TX 用

必ずカテゴリー 5 以上のケーブルをご使用ください。カテゴリー 5 以下のケーブルを使用した場合、「リンクできない」、「通信でエラーが発生する」、「通信できない」などの障害が発生します。ツイストペアケーブルのカテゴリーは、外見では識別できないので、何種類ものカテゴリーのケーブルを混在して使用している場合は特にご注意ください。

10BASE-T 用

カテゴリー 3 以上のケーブルを使用することができます。

2.UTP ケーブルの一方の端に付いたモジュラープラグを本製品の RJ-45 モジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込みます（両端のプラグのどちらでも構いません）。

3.UTP ケーブルを引っ張ってみて抜けないことをご確認ください。

4. 手順（2）と同様に、UTP ケーブルのもう一端のモジュラープラグをハブのコネクター（UTP）に挿し込みます。

UTP ケーブルの外し方

UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押さえながら手前に引くと抜くことができます。

リンクの確認

最後に、ハブ（またはスイッチ）とパソコンの両方の電源をオンにし、本製品の Link LED とハブの LINK OK LED の両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネットワークへの接続は正常に完了しています。

"LINK OK" LED の名称はハブの機種により異なります。また、"LINK OK" LED を持たない機種もありますので詳細はハブのマニュアルをご確認ください。

どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は、本製品とハブは正しくリンクしていません。その場合は、ご使用の UTP ケーブルがしっかり接続されていない、または断線している、あるいは適切なものを使用していないなどの原因が考えられます。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、ハブのポートを入れ替えてみるなど試してみてください。

ドライバーの新規インストール

1 . 本製品をパソコンの拡張スロットに取り付けた状態で、パソコンの電源をオンにし、Windows95　を起動します（3 ページの「ハードウェアの設定」を参照）。

2 .Windows95 は、本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。

本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに挿入して「次へ」をクリックします。この時点でドライバーディスクを CD-ROM ドライブに入れておくことが重要です。

注意

「マイコンピュータ」をダブルクリックし、ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認してください。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。

3 . 次の画面が表示されたら「場所の指定」をクリックします。

4 . 「D:\W95」と入力し、「OK」をクリックします。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:\ 」と仮定します。

5 . 次のダイアログで、ドライバーの名称が「corega FEther PCI-TXC Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「完了」をクリックします。

6 . 必要なファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中で本製品のドライバーディスクが要求された場合は、「OK」をクリックします。

7 . 「cocpcix3.sys　が見つからないのでドライバーディスクを入れてください」という画面が表示されたときは、本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに入れ、「ファイルのコピー元」に「D:\W95」と入力して「OK」をクリックしてください。「cocpcix3.sys」は本製品のドライバーディスクに収められているファイルです。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。

ご使用のパソコンに初めて LAN アダプターをインストールする場合は、ここでパソコンをネットワーク上で識別するための情報（「コンピュータ名」、「ワークグループ名」、「コンピュータの説明」）の入力を促すダイアログが表示されます。コンピュータ名とワークグループ名は、半角英数文字 15 文字以内で入力します。詳細は Windows 95 の取扱説明書およびオンラインヘルプを参照してください。これらの情報をドライバーのインストール後に変更するときは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を選択し、「ユーザー情報」タブで設定します。

8 .Windows 95の供給メディアを挿入するように指示するダイアログが表示されたときは、以下で説明する Windows 95 のメディア形態に応じて下記のように「ファイルのコピー元」にパスを入力して「OK」をクリックします。

■プリインストール版 Windows 95 の場合

プリインストール版の場合は Windows 95 のファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面ではディスクを入れるよう要求されますが、そのまま「OK」をクリックして画面を閉じて、上記入力例の「ファイルコピー元」に以下のとおり指定してください。ここでは Windows 95 の起動ディスクドライブを「C:」と仮定します。

コピー元：C:\windows\options\cabs

■Windows 95 が CD-ROM で提供されている場合

CD-ROM をドライブに挿入し、上記入力例の「ファイルコピー元」に以下のとおり指定してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。

コピー元：D:\WIN95

次ページへつづく

■Windows 95 がフロッピーディスクで提供されている場合

現在挿入されているドライバーディスクを取り出し、指示された番号のフロッピーディスクをドライブに入れ、「ファイルのコピー元」に「A:\」と入力してください。ここではフロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

9 . 手順 8 で Windows 95 の供給ディスクを挿入した場合は、そのディスクを CD-ROM ドライブまたはフロッピーディスクドライブから取り出してから、「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。ご使用のパソコンの環境によっては、以下のウィンドウが表示されない場合もあります。その場合でも、必ず再起動を行ってください。

10. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「インストールの確認」にお進みください。

インストールの確認

再起動したら、ドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

デバイスマネージャによるインストールの確認

1 .「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。「corega FEther PCI-TXC Ethernet Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」をクリックします。

注意 **本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときはインストールに失敗しています。詳しくは、PDF 形式のファイル「追加情報とトラブルシューティング」の「ドライバーのトラブルシューティング」をご覧ください。**

2 .「情報」をクリックします。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

注意 **「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されることがありますが、これは本製品の仕様によるものであり、本製品のご使用には支障ありません。安心しご使用ください。**

3 . 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows 95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

ネットワークの設定

ドライバーが正常にインストールされているか確認後、ネットワークの設定などを行います。

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管理者にご確認ください。また、基本的な設定例を PDF 形式のファイルでご用意しています。本製品のドライバーディスク内の「index.html」をダブルクリックして表示される「corega 製品を使用したLAN の構成」の Windows Me の設定例を参考にしてください。

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ウィンドウの「OK」をクリックします。再起動の確認画面が表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

1.「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。「corega FEther PCI-TXC Ethernet Adapter」を選択し、「プロパティ」→「詳細設定」タブと進み、ネットワーク通信モードの設定を行います。「値（V）」リストからご使用の環境に合ったものを選択し、「OK」をクリックします。詳細はシステム管理者にご確認ください。

各項目の意味は以下の通りです。

Connection Type

● **Auto-Negotiation（デフォルト）**

Auto-negotiation を有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

接続先機器が Auto-negotiation をサポートしている場合

可能な最高の速度（100/10 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。

接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

接続先機器（ハブなど）が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、「100 Base Tx Full_Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、「Auto Negotiation」を選択します

● **100 Base Tx Full_Duplex**

100Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

● **100 Base Tx**

100Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

● **10 Base T Full_Duplex**

10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

● **10 Base T**

10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

2.「ネットワーク」ダイアログに戻り、「OK」をクリックします。

3.「システム設定の変更」ダイアログで「再起動しますか？」という問いに対して、「はい」をクリックします。ドライバーの詳細設定は再起動することで値が有効となります。

ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、再びインストール作業を行います。

1.「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックします。「デバイスマネージャ」タブを選択し、「ネットワークアダプタ」アイコンをダブルクリックします。「corega FEther PCI-TXC Ethernet Adapter」を選択し、「削除」をクリックします。

2.「OK」をクリックします。

注意

手順２の画面で選択肢が表示されたときは、「すべての設定から削除」を選択して「OK」をクリックしてください。また、Windows 95 の CD-ROM が要求された場合は、「 ドライバーの新規インストール」の手順７～８と同様にファイルの場所を指定してください。

本製品を使用しない場合は、Windows95 終了しパソコンの電源をオフにして本製品を拡張スロットから取り外します。このとき必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。次回の Windows95 起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

3.製品のアイコンが消えていることを確認し、「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックしてください。

4.以上でドライバーの削除は終了です。ドライバーの再インストールを行う場合は、**本製品を取り外さずに**パソコンを再起動してください。

ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行うときは、ドライバーをいったん削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバーを削除してから再インストール作業を行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 .9 ページの「ドライバーの削除」の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。

2 .6 ページの「ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールをします。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2002 年 6 月　Rev.A　初版